

これ知っとう？

わが町の宝物 第13回

すえ 須恵ダム



時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

佐谷のショウケ峠の途中にある須恵ダムを知っていますか。

須恵ダムは治水・砂防を兼ねており、昭和39年5月着工、翌40年3月に完成した中央越流型アーチ式コンクリートダムです。

上から見た形が弓なりのアーチ型なので、こう呼ばれています。アーチの持つ特性によって、水圧の大部分を兩岸の岩盤に伝えることにより、コンクリートの重さで支える重力式コンクリートダムと比べて堤体を薄くすることができ経済的です。しかし、ダムの兩岸の岩盤に伝わる力が大きくなるので、兩岸に良好な岩盤が必要とされています。

建設当時は世界で一番小さいアーチ式コンクリートダムでした。



上下水道課
世利 昌信 課長に
お話を伺いました。

(ダム建設計画)

石炭採掘により、一般の住民が生活用水に使っていた井戸水が涸れる被害が発生し、被害世帯への補償のため志免鉱業所は、暫定的な給水措置として須恵川の水を汲み上げ、各被害地域へ給水を行いました。

しかし、水道法に基づく水道ではなく、衛生上からも飲み水としては不適で施設も不完全なため、昭和35年頃から被害住民より給水に対する不満が起き、地域開発の上から水道法に基づく上水道の必要性が高まり、住民の要望が強まりました。

町は各地域ごとに単一に給水が行われていた飲料供給施設を鉱害復旧事業によって一ヶ所に集め、水道法にのっとった「鉱害上水道」を計画しました。

須恵川上流に須恵ダムを建設し、水源として給水人口1万人とするもので、昭和37年に事業計画認可を受けて上水道事業に着手し、昭和40年4月から給水を開始しました。

水は私たちにとってかけがえのないものです。衛生的に管理され常時、水が使用できることに感謝です。

ダムの規模

・堤頂長	144.5m	・堤体積	9,500m ³
・堤高	21.0m	・総貯水量	120,000m ³
・堤頂幅	2.2m	・水道分の有効貯水量	80,000m ³

編集後記

初夏となり、プールの使用などにより水が大量に使われる季節になりました。

福岡県には、92のダムがあります。須恵町の主な水源は、須恵ダム・運動公園の中柱田貯水池・男鳥池と、筑後川を水源とする福岡地区水道企業団からの水です。

須恵町の水は佐谷浄水場の濾過池で緩速濾過した後、管理棟地下の施設で塩素を注入し、PC受水タンクに送られて企業団からの水とブレンドされ、配水池から各家庭に送られます。

最近ではペットボトルなどの普及により水の使用量が減っていますが、須恵町の水はおいしいと評判です。水道の水を飲んでみてください。ちなみに、須恵の水は1ℓ約20銭です。

今回、須恵ダムの取材を通して、水の大切さを改めて感じました。

今村 桂子

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子
副委員長：白水 勝元
委員：合屋 伸好
委員：三角 栄重